

外交史①6～15 世紀

大陸文明導入の時代

関連サイト

白村江の戦い

<http://www.youtube.com/watch?v=WWMaVzDaGGg>

鑑真（中国語のみ）

<http://www.youtube.com/watch?v=fHYccjTCOEM>

堺

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004250011_0000

南蛮寺

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004220031_0000

天正遣欧使節

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004280005_0000

有田焼

http://www.youtube.com/watch?v=sLJh2BGzn_o

平戸

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004430028_00000

高山右近

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004250021_00000

島原の乱

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09837/v0982700000000541157/>

高田の独り言

第一次世界大戦としての白村江の戦

日本が初めて本格的な対外戦争をしたのは、7世紀後半の白村江の戦いです。これはまさに第一次世界大戦とでもいべき戦いでした。これまで日本に文化をもたらした百済が、隣国の新羅からの侵攻を受けたため、日本に援軍を求めたのです。そして新羅の後ろ盾となるのは唐というのですから、まさに世界大戦でした。

百済の都が置かれていた扶余という地方都市に行くと、国が滅亡する際に宮廷の女官たちが飛び降りた崖などがあり、いまでも哀れを誘います。そして海を越えたこの日本には、百済の亡命者が大挙してきます。先進的な文明を身につけていた彼らが、唐や新羅からの侵攻に備えて築いたのが福岡市南部にある大宰府と、さらに大宰府を守るための城壁兼堀の水城と、大宰府陥落時の逃げ場としての大野城をはじめとする山城です。大宰府駅から車で約10分、背後の山（岩屋山）に上ると、眼下に正方形の空き地が見えます。そこが大宰府政庁跡です。さらにその北には、平野の真ん中を横切る一直線の森がみえますが、それが水城の城壁部分です。岩屋山展望台からさらに数分山道を走ると、琉球の城のように曲がりくねった土塁が見えてきて、さらに山の中を走り続けると目立たぬところに石垣が180mにわたって連なります。この城郭の巨大さがわかるというものです。城郭というものがなかった日本に、石垣や土塁で軍備を増強するという「文明」をもたらしたのは、ほかでもなくこの「第一次世界大戦」の百済亡命者だったのです。



↑1300年以上崩れない大野城石塁（福岡県）

ちなみに東アジアの動乱はその後も続きますが、地政学的な問題でしょうか、中国と日本が戦時体制になる時、朝鮮半島が戦場になりがちです。この後の「第二次世界大戦」は鎌倉時代の元寇、「第三次」は豊臣秀吉による文禄慶長の役、「第四次」は明治時代の日清戦争と、いずれも朝鮮半島が戦場になります。しかし朝鮮が完全に日本の植民地となり、国中が占領されたら日中戦争のときにも戦場にならず、解放直後に朝鮮戦争で再び戦場となったのは何とも皮肉です。

試験では外交問題が必出ですが、日本と中国との間で不和が起こる時、大体朝鮮が戦場になること、そしてその最初が白村江の戦いだったことを押さえておいてください。

文禄慶長の役

信長のもとで頭角を現した秀吉は、本能寺の変のあとわずか八年で天下を統一し、戦国の世に終わりをつげます。秀吉は天下統一するころまでは頭が切れるだけでなく、人心の把握も得意な人物でしたが、当時の平均寿命だった五十代も半ばを過ぎると、もうろくしたとしかいえないような言動が目立ちます。誇大妄想癖といいいましようか、「天下を統一した自分、今度は明を支配し、天皇の皇居を

北京に造る」などという、正直わけのわからないことを言い出します。「明征服プロジェクト」の一環として、まず朝鮮に秀吉軍を通してくれと交渉しますが、断られます。そして各武将たちの軍（その数十万！）を朝鮮に派兵し、朝鮮と戦います。



↑李舜臣の指揮した亀甲船（佐賀県名護屋城）

当初は満州の方まで勝ちぬけますが、明軍の反撃と朝鮮民衆の反乱でこう着状態になります。また朝鮮水軍の李舜臣將軍なども秀吉軍をなやませます。釜山の龍頭山や、ソウルの世宗路の真ん中に、彼の銅像があります。さて、秀吉軍は仕方なく一時退却して様子を見ますが、再度軍を投入します。結局領土を取ることはなく、この戦争は秀吉の死とともに終わりました。ちなみに秀吉軍が朝鮮半島における拠点として築いた日本式の城郭「倭城」が各地に残っています。

古くは飛鳥時代の白村江の戦い（倭・百済×唐・新羅）、鎌倉時代の元寇（鎌倉幕府×元・高麗）など、日本と中国がぶつかる時は必ず朝鮮半島が戦場になります。私はこれを「第3次世界大戦」と呼んでいますが、奇しくも中国側ではこれを「万曆朝鮮戦争」と呼んでいます。